

つばめ通信

11月号

スラバヤ日本人学校



令和6年11月8日

朝雲分けて 燕帰りぬ プラタスの里に 幾千里 日本生まれの子を励まして われらスラバヤの子 燕に学ぶ 努力の証

3つの心

校長 福田 栄喜

11月4日の全校朝会では、10月の全校朝会に引き続き次の3つの心について話しました。

□ 「おはようございます」という明るい心

「おはようございます」は、一日の始まりの挨拶です。挨拶は、元気にそして明るい心で言って欲しいです。なぜなら、小さな声で何となく沈みがちな挨拶は、言っている本人だけでなく周りの人にも沈んだ気持ちが伝わってしまうからです。反対に元気で明るい声は、自分もそれを聞いた人も元気になり、同じような明るい声で「おはよう」と返す気持ちになります。「おはよう」などの挨拶は、学級や学校を明るくする挨拶です。

□ 「私がします」という積極的な心

学級の係活動や家の手伝いで、先生や家の人に「誰かしてくれないかな」と頼まれたときには「私がします」と言えるとかっこいいです。やってできるかどうかは分かりません。でも、誰かがしなければならぬことはたくさんあります。積極的に「やってみよう」という気持ちが自分の成長につながります。

□ 「お先にどうぞ」という譲り合いの心

「お先にどうぞ」は心のゆとりの表れです。自分の周りをよく見ると、自分よりもずっと忙しく大変なのに「お先にどうぞ」と言える人がいます。「お先にどうぞ」と言われると、心がほっとして思わず「ありがとうございます」という言葉が出てきます。「お先にどうぞ」は、相手のことを大切にする譲り合いの心です。

子どもたちには、6つの心＜素直な心、反省の心、感謝の心、明るい心、積極的な心、譲り合いの心＞を大切にしてほしいと思います。

保護者の皆様には、引き続き本校教育活動へのご理解とご支援をいただきたいと思いますよう、どうぞよろしくお願いいたします。